

# 遠藤地区 ニュース

ENDO NEWS



令和5年度版  
2023



# 目 次

1～8 …… まちづくりニュース第66号

*遠藤まちづくり推進協議会（遠藤郷土づくり推進会議）*

9～12 …… 「ウィズコロナ社会での地域住民の生活実態調査」（2023年  
3月実施） 調査結果のご報告

慶應義塾大学 SFC 未来フィールド研究プロジェクト

13～16 …… のどか21号

*遠藤地区社会福祉協議会*

17～18 …… 防災だより第15号

*遠藤地区自主防災協議会*

19～20 …… 秋葉台サンシャイン第23号

*秋葉台サンシャイン（秋葉台中学校区三者連携会議）*

今回、遠藤地区で活動している4つの団体のニュースと慶應義塾大学SFCの調査結果をまとめてご紹介させていただきます。このほか、9つの自治会と遠藤地区自治会連合会、防犯協会、交通安全対策協議会、生活環境協議会、青少年育成協力会や民生委員児童委員協議会、社会体育振興協議会、楽生会連合会、ボランティアセンターシェークハンズ遠藤、地域の縁側もんのきの家、遠藤あじさいの会、遠藤彼岸花の会等、多くの団体が“人と自然がいきづくまち”夢のあるまち遠藤を目指して精力的に活動しています。

# まちづくり ニュース

第66号  
2024年  
(令和6年)  
3月25日

発行/遠藤まちづくり推進協議会(遠藤郷土づくり推進会議) 編集/広報・文化部会  
〒252-0816 藤沢市遠藤2984-3 TEL87-3009 FAX87-3008(遠藤市民センター)

## 遠藤地区賀詞交換会



2024年(令和6年)1月13日

### 遠藤市民センター 職員紹介

〈地域づくり担当〉

2023年4月～

主幹 藪内 智章

職員 石川 智也

職員 鈴木 葉子

よろしくお願  
いいたします。

新年を迎えるにあたり皆様のご健康とご多幸を願うとともに遠藤地区の発展を期して、自治会連合会主催の「賀詞交換会」が遠藤市民センターにおいて開催されました。  
コロナ禍が明け、4年ぶりの開催となった今回、主催者側も当時の記憶をたどりながらの準備となり、緊張の面持ちでしたが、いざ始まれば、遠藤地区の特性なのか、和やかな雰囲気、笑顔溢れる会が執り行われました。  
会の中では、琴の生演奏、鏡開き、演芸の披露や抽選会などが行われ、会場は大いに盛り上がりました。  
当日は鈴木市長のほか、多くの来賓の方々にご参加いただきました。

### 編集委員

石井 晴美・伊澤 清美・小堺 忠秋・江幡 健市・田代 明久・伊澤 藤枝・宮崎 勉・鶴ヶ崎 春江

### 66号紙面紹介

- 遠藤地区賀詞交換会/遠藤市民センター新職員紹介 …… 1面
- わがまち遠藤ポスターコンクール …… 3面
- 遠藤民俗芸能保存会・わかやぎ会会員募集/遠藤朝市 …… 5面
- 社体協「えんどう夏祭り」・「遠藤地区レクリエーション」 …… 7面
- わがまち遠藤ポスターコンクール …… 2面
- あじさいまつり/彼岸花まつり …… 4面
- 遠藤地区文化祭 …… 6面
- 秋葉台小学校創立70周年記念 …… 8面

第13回

わがまち遠藤ポスターコンクール



2023年(令和5年)10月28日

郷土愛あふれる地域まちづくり活動の推進を目的として、地区内小中学生の視点で描く「遠藤のまちづくり」をテーマとする『わがまち遠藤ポスターコンクール』の表彰式が、遠藤地区文化祭のオープニングセレモニーにおいて実施されました。たくさんの方々に見守られ、会場はあたたかい拍手に包まれていました。

13回目となった今回、滝の沢中学校の生徒を新たに応募対象として追加し、応募総数は46点となり、昨年よりも多くの応募をいただきました。

厳選なる審査の結果、12点が受賞作品として表彰されました。

受賞作品および応募作品については、文化祭当日は遠藤市民センター1階および3階ホールに、文化祭後の10月30日(月)から12月1日(金)まで、1階に展示されました。

最優秀賞



秋葉台小5年 山本 知佳



滝の沢中3年 菅沼 華凜



秋葉台小3年 佐々木 晴琉

優秀賞



秋葉台小1年 小川 結花



秋葉台小4年 小川 涼花



秋葉台中3年 平塚 向葵

JA特別賞



石川小4年 山野井 蓮乃

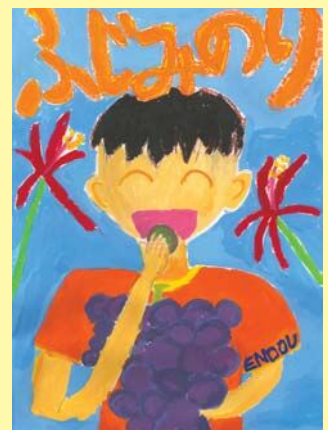


石川小5年 矢野 湊空

努力賞



石川小4年 井上 成



石川小3年 中田 陽大



石川小5年 長瀬 あおね



石川小2年 山口 美桜

第24回

## 遠藤あじさいまつり

2023年6月18日(日)

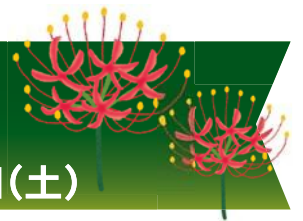


色とりどりのあじさいをたくさんの方々にご観賞いただくことができました。

また、多くの来賓の方々にもお越しいただき、地元野菜の販売、遠藤の太鼓保存会の太鼓演奏や遠藤民俗芸能保存会のささら踊り等も好評でした。

## 第16回 小出川彼岸花まつり

2023年9月23日(土)



前回は荒天のため延期となってしまいましたが、今回は何とか持ちこたえて、無事、お祭り当日を迎えることができました。

模擬店やスタンプラリーには賑わいが見られました。

猛暑の影響からか、遅咲きになったため、お祭り以降も彼岸花の観賞を楽しむことができました。

♪♪ **ささら踊り 遠藤民俗芸能保存会** ♪♪  
**わかやぎ会 会員募集**




**遠藤民俗芸能保存会について 会員募集中**

主に地区を中心とした行事や文化祭において、割り竹で作られた「ピンササラ」を使用したささら盆踊りを披露しています。ささら踊りは平成20年2月5日には、神奈川県指定無形民俗文化財となりました。

写真は今年度の遠藤地区文化祭で披露されたもので、来場者と一緒に輪になって踊り、会場を盛り上げていました。

**この伝統芸能を伝承していく賛同者の参加を願っています。**



**わかやぎ会 会員募集中**

遠藤に江戸時代から伝わる農作業唄を地域の宝とし、次世代に継承する役割を担い唄い続ける会です。

昭和37年頃芸能として復活、平成26年には藤沢市の重要無形文化財に指定されました。

写真は同じく遠藤地区文化祭で披露されたもので、地区の子どもたちが伝統に触れるいい機会となりました。

この趣旨にご賛同いただける遠藤にお住いのかた、

**是非メンバーにご参加下さい。**



☀️ **遠藤朝市** 🐔  
 2023年12月16日(土)

前日の雨風は何処へやら、季節外れのほかほか陽気のなか、今年も「遠藤朝市」が開催されました。

運営は遠藤まちづくり推進協議会の自然環境部会員が中心となって構成された実行委員会が行い、地場産野菜の即売、模擬店の出店、やきいもの無料サービスがありました。

当日は慶應義塾大学SFC七夕祭湘南学園祭実行委員会の学生もボランティアとして協力してくれました。




# 第48回

# 遠藤地区文化祭

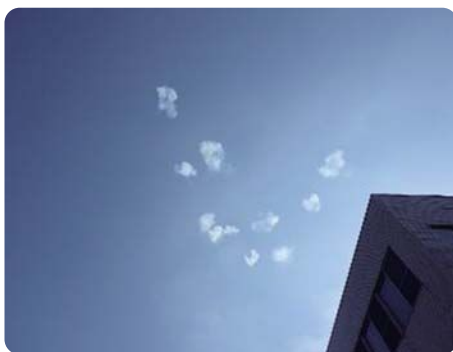
みれあいで育てよう みるさとの心

2023年10月28日(土)~29日(日)



みんなで元気にラジオ体操 

開催を告げる雷 (らい) 



力強い太鼓で大盛り上がり 




毎年大盛況、ささが吹奏楽部 



チャリティーダンスパーティー 



地域のサークルさんも日ごろの練習の成果をご披露 

遠藤地区文化祭実行委員会主催の「遠藤地区文化祭」が盛大に開催されました。

前回と比べて、参加してくださった団体が増えたため、大幅に会場を広げる試みがありました。また、前回好評いただいたフードコートエリアも拡大し、多くのお客様に楽しんでいただける空間づくりを行いました。

舞台発表では、秋葉台中学校吹奏楽部のほか、地域のサークル団体が日ごろの成果を披露し、多くのお客様に喜びと感動を届けてくれました。

10月21日(土)には開催に先がけて「チャリティーダンスパーティー」が催され、地区内により一層活気をもたらしました。





令和5年8月3日(金)と4日(土)の2日間にわたり、「えんどう夏祭り」が秋葉台小学校校庭にて開催されました。

地元太鼓やダンス、マジック、勇壮な琉球国祭り太鼓などの演目や模擬店が出店され、校庭は多くの来場者で埋め尽くされました。祭りの最後には打ち上げ花火が遠藤の空に華を咲かせました。

## 遠藤地区社会体育振興協議会主催

令和5年11月19日(日)秋晴れの中、「遠藤地区レクリエーション」が秋葉台小学校校庭にて開催されました。

半日の開催ではありましたが、全ての競技に沢山の方が参加され、来賓では、鈴木市長にもお越しいただきました。大人も子ども大変盛り上がることも、運動不足解消のいい機会となりました。





# 秋葉台小学校 創立70周年記念 学校紹介



～ 学校教育目標「自ら学び、生き生きと活動する子どもの育成」～



和田 武彦 校長

昭和30年に開校し、遠藤地区の発展とともに歴史を積み重ねてきた本校は、開校70周年を迎えました。

本校の校名は、現在地である通称「池の頭」付近を「秋葉台(あきはんでえ)」と呼んでいる名をとって秋葉台小学校と命名されたものです。開校当初は児童数285名、6学級でスタートした本校ですが、現在は児童数640名、22学級となっており、ここまで多くの方々の協働と挑戦により、昭和、平成、令和の時代を力強く歩んでまいりました。こうして70周年の節目を迎えられたことを児童、保護者、地域の皆様、教職員とともに喜び、祝い合うとともに、改めて先人の努力に感謝したいと思います。

現在、本校では「自ら学び、生き生きと活動する子どもの育成」を重点目標として、時代を担う子どもたちに必要な力を模索し、実践しています。熱意を持って協働する日々が新たな歴史をつくり、時代に引き継がれると信じ、これからも努力を重ねて参ります。今後も、家庭、地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げご挨拶いたします。



写真は、開校当時の校舎です。初めは、4つの教室しかなく、低学年は午前中、高学年は午後に勉強する二部授業をしていました。

現在のジャンボゴルフ、慶應義塾大学、いすゞ…周りは全て丘陵地帯で今よりずっと山でした。子どもたちは、木イチゴ取り・竹笛・笹舟作りなど、山の中で遊んでいることが多かったそうです。また小出川でフナ釣りや鯉釣りをして遊ぶこともあったそうです。

創立50周年時に在籍していた子どもたちが作成したタイムカプセルです。20年後の自分に向けた手紙などが入っているようで、来年度開封する予定です。



現在も地域の協力で学習活動を進められています。いけのかしら公園には、田んぼや畑があり、今年も1年生がさつまいもを育て、5年生はお米作りに挑戦していました。また、2年生は、地域の果樹園協力のもと、梨の受粉から収穫までを見学していました。

# 「ウィズコロナ社会での地域住民の生活実態調査」 (2023年3月実施) 調査結果のご報告

慶應義塾大学 SFC 未来フィールド研究プロジェクト

慶應義塾大学SFCの未来フィールド研究プロジェクトでは、今後のウィズコロナ社会でのまちづくりの参考資料とするため、2023年2月～3月に、藤沢市遠藤地区にお住まいの方を対象とした調査を実施しました。ここに主な結果をご報告いたします。

## ■ 調査方法

遠藤地区内の自治会加入1,400世帯へ、無記名式の質問紙を配布、配布先世帯員のうち1名にご回答いただき、郵送にて返送していただく形で調査を実施しました。

2023/2月～3月の期間中に339通の返信をいただき(返送率:24.2%)、このうち性別・年齢に記載のあった335名分(23.9%)の回答を分析対象としました。

## ■ 結果

### A 回答者の平均年齢や性別割合など

#### ●平均年齢:62.7歳(最年少 19歳～最年長 89歳)

✓ 回答者の約5割が65歳以上の方でした。



#### ●性別:女性 55.8% ・ 男性 44.2%

✓ 65歳未満のグループでは女性の回答者のほうが多く、65歳以上のグループでは男性の回答者のほうが多い、という傾向がありました。

#### ●家族構成:「家族と同居されている方」が 91.0%

✓ 回答者の9割が家族と同居している世帯の方でしたが、回答者の年齢が高くなっていくにつれ、一人暮らし世帯が増えていく傾向がみられました。



#### ●主観的健康観:「自分は健康だと思う」と回答した方が 86.3%

#### ●治療中の疾患:「ある」と回答した方が 58.5%

✓ 定期的な通院を必要とする「治療中の疾患」が、「ある」と回答した方が約6割いる一方、「自分は健康である」と感じている回答者は、8割以上いました。

このことから、「治療中の病気」があっても、「自分は健康である」と考える方が多数いらっしゃる事がわかります。

#### ●就労状況:「就労している」と回答した方が 56.4%

✓ 回答者の半数以上の方が「就労中」と回答されていましたが、年齢が上がるにつれ、パートタイムや非就労の割合が増加していました。

#### ●精神的健康状態:「中等度以上の心理的ストレスを感じている方」が24.8%

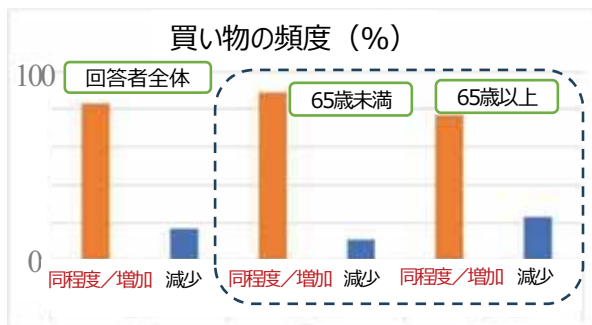
✓ 回答者の2割が治療を必要とする中等度以上の心理的ストレスを感じていることがわかりました。

→2年前の調査時と比べると、中等度以上の心理的ストレスを感じている方の割合は32.8%から24.8%へ減少しましたが、それでも「コロナ禍前の国民生活基礎調査」の10.3%よりも高く、継続した支援や経過観察が依然として必要なことがわかりました。

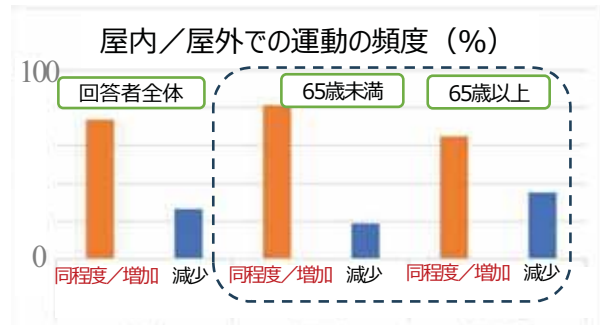
## ■ 結果

### B 「コロナ禍前」と「現在」では、生活状況はどう変わったか

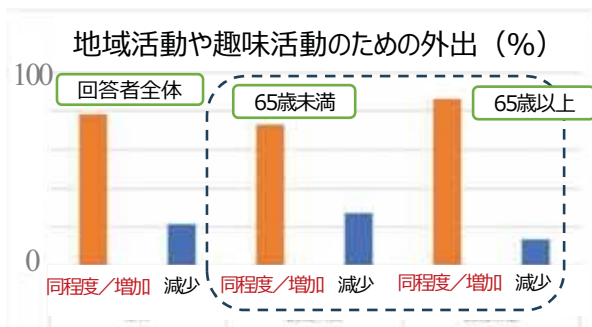
ここでは、「回答者全体」の結果とともに、回答者を「65歳未満」と「65歳以上」の2つのグループに分け、比較した結果についても、「65歳以上」の結果を中心に、ご報告します。



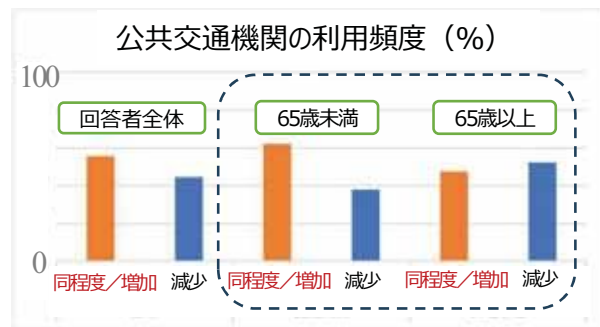
- 「買い物の頻度」は、回答者全体の8割が、コロナ禍前と同程度か増加していた。
- 「65歳以上」のグループの方が、コロナ禍前よりも減少したままの回答者が多かった。



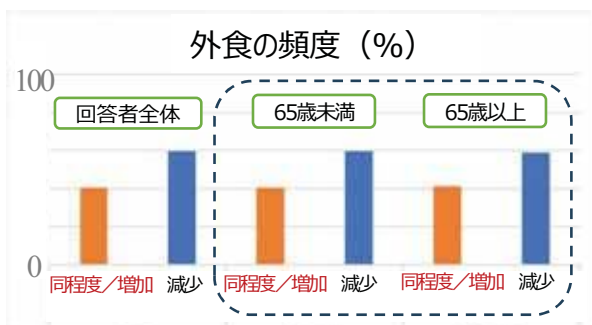
- 「屋内/屋外での運動の頻度」は、回答者全体の約7割が、コロナ禍前と同程度か増加していた。
- 「65歳以上」のグループの方が、減少したままの回答者が多かった。



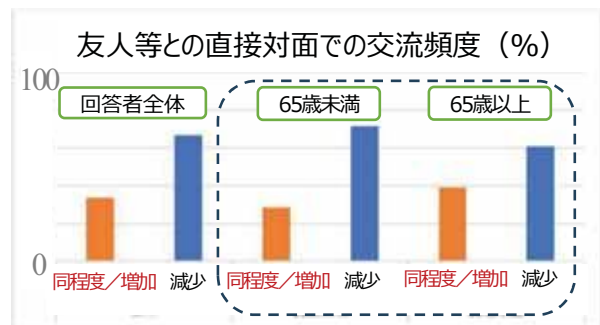
- 「地域活動や趣味活動のための外出」は、回答者全体の約7割が、回答時点でコロナ禍前と同程度か増加していた。
- 「65歳以上」のグループの方が、コロナ禍前の状況に戻った回答者が多かった。



- 「公共交通機関の利用頻度」は、回答者全体の5割以上が、コロナ禍前と同程度か増加していた。
- 「65歳以上」のグループの方が減少したままの回答者が多かった。



- 「外食の頻度」は、回答者全体の約6割が回答時点でコロナ禍前より減少していた。
- 「65歳未満」と「65歳以上」のグループを比べても、傾向に特に違いはなかった。



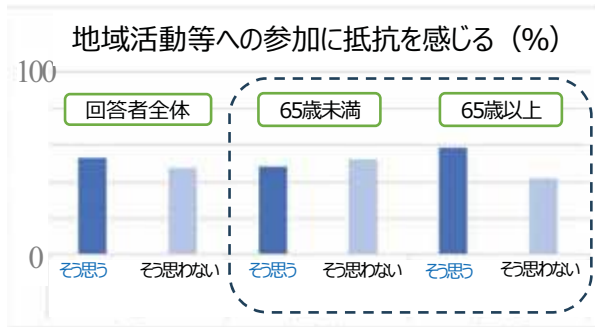
- 「友人等との直接対面での交流頻度」は、全体の6割以上がコロナ禍前に比べて頻度が減少していた。

#### 【Bのまとめ】

- ✓ 「買い物」、「屋内外での運動」、「地域活動等のための外出」は、全体の7割以上がコロナ禍前の状況に戻っていました。
- ✓ 一方で、「外食」、「友人等との対面交流」は、全体の6割以上が、依然として、コロナ禍前よりも減少した状態でした。

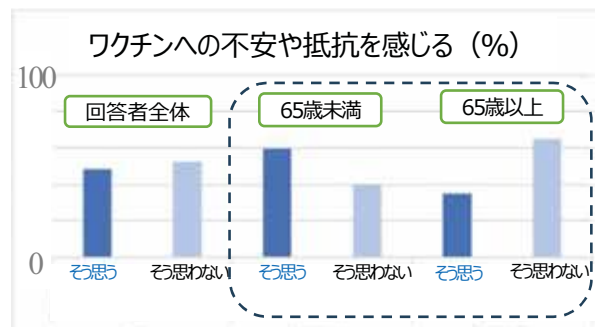
## ■ 結果

### C 現在の生活の中での困り事について

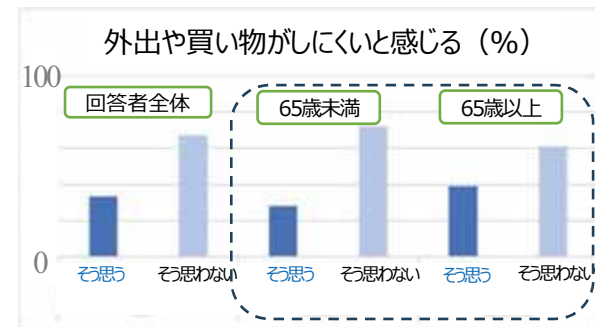


➤ 回答時点で、「**地域活動等への参加に抵抗を感じる**」回答者は全体の5割で、依然として、**半数以上の人々にとって、地域活動への参加には抵抗があった。**

➤ 「65歳未満」と「65歳以上」のグループで比べても、回答者の割合に差はなかった。



➤ 回答時点で、「**ワクチンへの不安や抵抗を感じる**」回答者は全体の4割で、「65歳以上」のグループと比べると、「65歳未満」のグループに、**ワクチンへの不安を感じている回答者が多かった。**



➤ 回答時点で、「**外出や買い物がしにくいと感じる**」回答者は全体の3割で、「65歳未満」のグループと比べると、「65歳以上」のグループに**外出への難しさを感じている回答者が多かった。**

### 【Cのまとめ】

➤ コロナ禍前の生活と比較して、「65歳以上」のグループでは、**外出や運動の機会が減少し、地域活動への参加・外出や買い物のしにくさを感じている方がまだ多数いらっしゃいます。**  
**こうした方たちの心身機能の低下が懸念されます。**

→ **地域活動への参加や外出がしにくいという気持ちを生んでいる原因や環境があるのか、それは何かといったことについて、より詳しい検討が必要である**とともに、こうした方たちの**フレイル予防対策**の検討が重要と考えられます。



## ■ 結果（自由記載のまとめ）

### 【現在の生活について】

#### ✓ 前向きなご意見

- ①リモートでの新しいコミュニケーション手段によって、別居の家族や遠距離の友人と交流する機会が増えた
- ②行政・学校・医療機関・地域活動などの体制や手続き方法等が効率化されたことで、待ち時間が減少したり、利便性が向上した
- ③配食や食品配達サービスの充実し、配達エリアが拡大した
- ④感染予防や早めの受診など、健康管理に対する意識が高まった

#### ✓ 否定的なご意見

- ①マスク着用が窮屈さを感じる、マスクを外すことに抵抗がある、マスクをしていない人のことが気になる、道端にマスクが捨てられごみが増えた、など
- ②感染(すること/させること)への不安から病院を受診しづらいと感じる、家族や友人と気兼ねなく会いにくいと思う
- ③外出せずともある程度生活できる環境が整備されたり、人が集まるイベントの開催頻度が減ったことで、外出や地域活動への参加機会が減ってしまった、高齢の家族の健康状態が心配

### 【現在の地域活動について】

- ①新規の参加者が減って心配。地域の交流機会として貴重な場なので、コロナ禍前に戻ってほしい
- ②活動時間の短縮や、参加人数の制限に閉塞感がある。活動内容が単調になりこれまでと比べ、楽しめなくなった
- ③地域活動がいつどこで行われているかを知る方法がわからない
- ④地域活動への参加を控えるようになった理由として、a) コロナ禍で自粛している間に、体力的に自信がなくなった、b) 参加時のマスク着用や手指消毒に面倒くささや抵抗感がある、c) 地域活動の参加方法が事前予約やインターネット予約になり、参加するまでの手続きが大変になった、など

## ■ 全体のまとめ

2023年3月は2020年初頭からのコロナ禍から3年が過ぎ、ニュースなどでは新型コロナウイルス感染症が「第2類感染症」から「第5類感染症」へ移行する可能性が報道されるなど、ウィズコロナ社会への移行時期でした。

買い物や屋内外での運動など、単独でも行える行動はコロナ禍以前に戻りつつある一方で、外食や友人等との対面交流、地域活動への参加など、他者との接触が多い行動については、依然として、控えている方や抵抗のある方が全体の半数以上いらっしゃいました。特に、65歳以上の方々に限定してみると、外出や運動の機会が減少し、地域活動への参加や外出や買い物のしにくさを感じている方も多い傾向がみられました。

今後は、引き続き日常生活の中での感染予防を行っていくことも重要ですが、ウィズコロナ社会で、どのようにコロナとともに生活をしていくか、心身の健康を維持していくか、そして、その障壁となっているものは何か、について検討していくことが必要であると考えられました。

## ■ 謝辞

調査の実施にあたっては、遠藤市民センター、遠藤まちづくり推進協議会、遠藤地区自治会連合会、遠藤地区社会福祉協議会、遠藤地区民生委員児童委員協議会の皆さまに多くのご支援・ご協力をいただきました。また調査にご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。ここに御礼申し上げます。

慶應義塾大学 SFC (湘南藤沢キャンパス) 未来フィールド研究プロジェクト

●メンバー：内山映子（政策・メディア研究科）、永田智子（看護医療学部）、山本なつ紀（看護医療学部）  
Mail: keiosfc.endo.project@gmail.com



遠藤地区  
社協だより

# のどか

皆で育てる  
福祉の芽



編集・発行 遠藤地区社会福祉協議会  
事務局 遠藤市民センター内 藤沢市遠藤2984-3 電話 0466-87-3009 FAX 0466-87-3008

遠藤地区の人口 男性：6,142人 女性：5,719人 総数：11,861人 (令和6年2月1日現在)

## 高齢者懇親会



- 活動報告 遠藤地区高齢者懇親会 …… 13頁
- 活動報告 遠藤地区敬老会 …… 14頁
- 長寿夫妻のお祝い …… 15頁
- 活動報告 遠藤地区文化祭 …… 16頁
- 活動報告 いきいき教室・みんなの食堂 …… 16頁
- 事業報告及び計画・予算 …… 16頁

令和6年2月22日(木)、軽やかな雨音に包まれながら、「令和5年度高齢者懇親会」が遠藤市民センターで開催されました。当日は、伊澤フサさんとお弟子さん達による飾り舞が出迎える中、45名の方が出席されました。

4年ぶりとなる秋葉台幼稚園の園児たちによる演芸では、歌や鈴を使った演奏などが披露されました。園児たちの一挙手一投足が愛らしく、参加者は園児たちから元気をたくさん貰ったようでした。

幕間では、遠藤楽生会連合会の松崎会長による活動紹介・会員募集のご案内があり、楽しい語りに会場から笑いが零れていました。遠藤いき



いきサポートセンターによる健康にまつわるお話では、座ったままできる「パタカラ運動」を皆で行い、寒さで縮こまっている体をほぐしたようです。

そして、会場をミラーボールの光が彩る中、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの学生たちによる昭和歌謡コンサートが開演しました。「あの鐘を鳴らすのはあなた」や「川の流れのように」など、昭和を代表する曲が生演奏で披露され、大きな歓声と拍手が贈られました。

久しぶりの会食の時間は、皆様お喋りに花を咲かせていらっしやり、和やかな雰囲気の中、惜しまれながらの閉会となりました。

# 敬老会



ご長寿を地区でお祝いするため、83歳以上の方を対象とした敬老会を開催いたしました。当日は台風の接近が予想されていたため、急遽午前から午後の開催に変更することとなりましたが、43名の方を無事お招きすることができました。



今回は“さくら家七分さん”による落語と“紅花家琴纏さん”による講談を披露していただきました。惹きつけられるような落語の言い回しや、気持ちよく響く講談の張扇の音などが飽きを感じさせず、会場は終始笑い声に包まれていました。

また、開催時間を変更したことから、お弁当はお持ち帰りとし、ご自宅に戻られてから、楽しかった時間を思い出しながら召し上がっていただくよう、お伝えいたしました。

多くの方のご参加、ありがとうございました。末永く健やかに過ごしてください。



## クッキー詰め合わせ



当日欠席された方も含め、全対象者へ遠藤地区民生委員を通じて敬老祝品をお渡ししました。

## お弁当と紅白饅頭を お持ち帰りいただきました。





## 長寿夫妻の方



長く人生を共に過ごされたご夫婦を讃え、敬老会にあわせて記念品を贈呈し、お祝いをいたしました。これからも末永く仲良く、お元気にお過ごしください。



### ご結婚60年

- ・久保 芳 一様 生枝様 ご夫妻
- ・柴田 友成様 瑠璃子様 ご夫妻

### ご結婚50年

- ・新井 正 幸様 貴子様 ご夫妻
- ・飯島 正 博様 あい子様 ご夫妻
- ・小野寺 正 一様 スガ工様 ご夫妻
- ・鎌田 政 幸様 清子様 ご夫妻
- ・川野 裕 顕様 啓子様 ご夫妻
- ・佐々木 幸次郎様 サカ工様 ご夫妻
- ・濱田 実様 矢の美様 ご夫妻
- ・宮崎 勉様 瑠璃子様 ご夫妻

## 第48回

## 遠藤地区文化祭

令和5年10月28・29日(土・日)の2日間、第48回遠藤地区文化祭が開催され、福祉バザーと模擬店出店で参加しました。

福祉バザーの品物は原則新品のみとされていますが、今年は“子育て応援”として、子供服に限って中古も回収し、多くの品物が集まりました。

模擬店部門では、毎年人気のとん汁・たこ焼きの2種類で出店いたしました。

地域の野菜がたくさん入った熱々のとん汁とたこ焼きは、寒空の下でいただくのにぴったり！

そして、今年は小学生から中学生のボランティアがお手伝いに来てくれ、委員と一緒にたこ焼きを担当していただきました。調理から会計まで、明るい声で手伝っていただき、委員も活気をもらいました。



ご協力、ありがとうございました。

# ★いきいき教室★

今年も社会福祉法人竹生会 芭蕉苑介護老人福祉施設と共催で実施いたしました。

いつまでも元気にいきいきと過ごすために、楽しみながら体を動かしたり、自分の体について学びました。

\* 令和6年度も回覧でお知らせいたします



# みんなの食堂

慶應義塾大学 SFC 長谷部葉子研究会の学生たちと共催で実施いたしました。

地区の皆さまのご協力をいただきながら、野菜の収穫や季節の実りを使って調理実習などを行い、子どもたちの弾けるような笑顔を見ることができました。

ご協力、ありがとうございました。



## 令和5年度 遠藤地区社会福祉協議会 収支予算

(収入)

1 会費	133,400円
2 補助金	737,450円
3 交付金	61,000円
4 事業収入	180,000円
5 寄付金	35,000円
6 繰越金	671,491円
7 福祉基金取り崩し金	4円
8 雑収入	655円
<b>合計</b>	<b>1,819,000円</b>

(支出)

1 会議費	15,000円
2 事務費	100,000円
3 交際費	30,000円
4 事業費	1,410,000円
5 負担金等	247,000円
6 予備費	17,000円
<b>合計</b>	<b>1,819,000円</b>

## 令和5年度 遠藤地区社会福祉協議会 事業報告

4月15日	総会
5月1日~31日	日赤会費募集【募金額 372,600円】
5月19日	いきいき教室(介護予防教室)①
6月24日	みんなの食堂①
7月21日	いきいき教室(介護予防教室)③
9月8日	敬老会
9月15日	いきいき教室(介護予防教室)③
10月1日~31日	赤い羽根共同募金運動 【募金額 349,800円】
10月28日・29日	地区文化祭 福祉バザー・模擬店
11月18日	みんなの食堂②
11月21日	視察研修会
12月1日~31日	年末たすけあい募金運動 【募金額 136,630円】
12月9日	みんなの食堂③
1月20日	みんなの食堂④
1月26日	いきいき教室(介護予防教室)④
2月22日	高齢者懇親会
3月	広報紙「のどか」の発行

# 第15号 遠藤地区

# 防災だより

2024年(令和6年)3月25日  
遠藤地区自主防災協議会  
事務局 遠藤市民センター

## 遠藤地区自主防災協議会活動報告

### ～主な活動内容～

- 4月15日(土) 総会 @遠藤市民センター
- 6月17日(土) 防災講演会 @御所見市民センター
- 7月1日(土) 秋葉台小学校避難所運営委員会・避難所訓練
- 7月11日(火) 秋葉台中学校避難所運営委員会
- 8月26日(土) 秋葉台中学校避難所訓練
- 9月9日(土) 慶應義塾大学避難所運営委員会・避難所訓練
- 9月26日(火) 第1回全体会議 @遠藤市民センター
- 10月31日(火) 第2回全体会議 @遠藤市民センター
- 11月25日(土) 地区総合防災訓練 @秋葉台小学校
- 1月23日(火) 視察研修 @防災体験学習施設 そなエリア東京
- 1月27日(土) 藤沢市地域防災活動推進大会への出席 @市民会館 小ホール



自分の命を守ろう(自助)

みんなで助け合おう(共助)

公的機関によるもの(公助)

## 安否確認タオルを作成しました

災害時に自分の家は無事であることを示すために掲げるタオル“安否確認タオル”を遠藤地区として初めて作成し、域回覧にて全戸配布をしました。

外から一目でわかる場所(門扉やポストなど)に掲げることで、その家の無事を知らせることができます。災害時には、一軒一軒安否確認をしなければならないところ、タオルを掲出していた場合、その家の確認を省くことができ、効率的に救助活動を行うことができます。

本協議会では、いざという時にタオルの掲出ができるよう、地区総合防災訓練の一環として、安否確認タオルを使用した安否確認訓練を行いました。



## 遠藤地区総合防災訓練

2023年11月25日(土) 秋葉台小学校

近年は新型コロナウイルス感染症の蔓延による中止と昨年は訓練当日の大雨による中止により、4年ぶりに遠藤地区総合防災訓練が開催されました。

安否確認訓練のほか、各自治会の有志のご協力のもと、薪の代わりに新聞紙を使用した炊き出し訓練を行い、おにぎりを参加者へのお土産として配布しました。訓練の終盤には救助犬訓練士協会が日頃の訓練の成果を披露してくださいました。また、消防団第19分団がポンプ車操法により、見事な放水を披露してくださいました。

ご参加いただいた地域の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。



▲自治会集合!!



▲救助犬による救出訓練



▲ポンプ車操法

## 避難所運営委員会・開設訓練

2023年7月～9月

遠藤地区の指定避難所である秋葉台小学校・秋葉台中学校・慶應義塾大学において、運営委員会及び訓練を実施しました。運営委員会は、自治会の代表者・施設管理者・市従事職員にて構成され、避難所運営が円滑に進むよう年に一度委員会を開催しています。開設訓練では、災害が起きたことを想定し、避難所運営で特に重要となる“初動”を確認しました。

毎年異なった訓練を行い、災害に立ち向かう術を身に着けます。



▲ 間仕切り設置訓練  
(秋葉台小学校)



▲ 段ボールベッド組み立て訓練  
(秋葉台中学校)

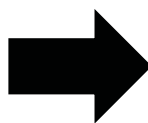


▲ 避難者誘導訓練  
(慶應義塾大学)

## 遠藤地区の『指定避難所』・『指定緊急避難場所』

### 指定避難所とは

- 災害の危険を感じて避難してきた方が、危険がなくなるまでの必要な期間滞在する施設。
- 被災状況によって自宅へ戻れなくなった方が、一時的に滞在することを想定した施設。

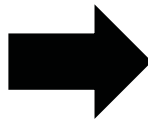


### 遠藤地区自治会の指定避難所

- |        |            |
|--------|------------|
| 秋葉台小学校 | 東部・北部・プレス  |
| 秋葉台中学校 | 青空         |
| 慶應義塾大学 | 西部・南部      |
| 石川小学校  | 永山・ひばり・わかば |

### 指定緊急避難場所とは

- 災害の危険から命を守るために緊急的に避難をする場所。
- 洪水・津波・地震・大規模火災等の災害の種別ごとに指定。



### 遠藤地区自治会の指定緊急避難場所

- |          |                    |
|----------|--------------------|
|          | 洪水／崖崩れ             |
| 遠藤市民センター | 秋葉台文化体育館           |
| 秋葉台中学校   | 慶應義塾大学             |
| 石川小学校    |                    |
|          | 大規模な火事             |
|          | 秋葉台公園周辺(秋葉台中学校を含む) |

＋・藤沢市からののお知らせ・＋

## 災害時福祉ボランティア募集中

現在、市では「福祉避難所（一次）」の運営をお手伝いしていただく「災害時福祉ボランティア」として、保健福祉や語学に関する資格や経験をお持ちの方を募集しております。

「災害時福祉ボランティア」は、保健福祉や語学の分野で資格や経験を有する方で、災害時のボランティア活動にご協力いただける方が、事前に登録をしていただくことで、災害発生時に福祉避難所（一次）にお集まりいただき、受入をした要配慮者に対して、介助等のお手伝いや市の職員への助言を行うなど、福祉避難所（一次）の運営の補助をお願いするものです。

詳細は、市HP又は危機管理課にお問い合わせください。

- 市HP  
<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/kikikanri/bosai/saigai-fukushi-volunteer.html>
- 危機管理課 問い合わせ先  
0466-25-1111（代表） 内線 2432



# 秋葉台サンシャイン

第23号

【発行】秋葉台サンシャイン（秋葉台中学校区三者連携会議）  
〒252-0816 藤沢市遠藤2984-3（遠藤市民センター内）  
電話 (0466)87-3009 FAX (0466)87-3008



2024年(令和6年)3月

## 学校・家庭・地域が連携して子どもたちを育てます！

### ◆ 秋葉台小6年生の授業に、現役プロフットサル選手の菊池大介選手（湘南ベルマーレフットサルクラブ所属）をお呼びしました！

秋葉台小学校の6年生の総合的な学習の時間の中で、「将来の夢」について、講義を開催しました。講師は元プロサッカー選手で、現役プロフットサル選手の菊池大介選手にお越しいただき、自身の小学生の時の将来の夢や、プロサッカー選手になるまでのプロセスなどをお話いただき、最後には小学生からの質問にもお答えいただきました。

菊池選手は「将来を担っていく子どもたちに向けて、少しでも力になれば。」と熱心に語りかけ、また、耳を傾けてくださいました。



### ◆ 日本の伝統文化「茶道」で触れ合おう （秋葉台中学校 家庭部）

遠藤公民館の和室を使用し茶道の講師を招いて、月1回、作法等の学習をしています。

また、4年ぶりに遠藤地区文化祭において、日ごろの成果、「お点前」を披露することができました。当日は、大盛況で、用意していたお茶菓子は全てなくなりました。



### ◆ おもちゃの修理

遠藤地区文化祭にて、地区内のボランティアさんが、おもちゃの修理を行いました。

おもちゃの構造が年々複雑化している中、ボランティアの方々の長年の経験を活かして、修理されたおもちゃをお客様にお持ち帰りいただき、好評をいただきました。



### ◆ 薬物依存防止/藤沢ライオンズクラブ （秋葉台小学校 6年生）

「薬物はダメ ゼットイ」をキーワードに藤沢ライオンズクラブを講師に迎え、薬物乱用防止についての講義を開催しました。

啓発動画やパネルの展示等、子どもたちは真剣に聞き入っていました。



### ◆ 郷土の自然と共に！遠藤笹窪谷公園交流事業 （秋葉台中学校 1年生）

青少年育成協力会との共催の中学生交流事業において、遠藤笹窪谷公園で花菖蒲の植え付けやマルチング用わらの敷き詰め、自然観察等を地域の方々にご指導いただきました。



## ◆ 農作物を育てる体験

&lt;米づくり&gt; (秋葉台小5年生)

&lt;さつまいもづくり&gt; (秋葉台小1年生)

毎年いけのかしら公園内の学習水田と畑で、5年生がお米を田植えから収穫まで、1年生がさつまいもの苗植えから収穫までを行っています。5年生が収穫したお米はおにぎりにしてみんなで食べ、収穫祭にはお世話になった地域の方々をお招きして、合奏のプレゼントをしました。1年生が収穫したさつまいもは、お家へのお土産にして持ち帰りました。

米づくりの指導は青木浩一さんと飯島康範さん、さつまいもづくりの指導は櫻井正男さんと伊澤慶市さんです。

ここ数年、老朽化により水が漏るなどのアクシデントが多かったいけのかしら公園内の学習水田ですが、令和6年4月には改修が予定されているとのことで、これからも子どもたちの体験学習の場として継続できそうです。



## 地域コミュニティ事業をとおして子どもたちの成長を!

## ◆ さつまいも掘りとコスモス狩り &lt;遠藤の秋をさがそう&gt;



2023年11月11日(土)に「さつまいも掘りとコスモス狩り<遠藤の秋をさがそう>」が開催されました。昨年度まで実施していた「郷土の散策」に代わり、本年度初めての試みとなりましたが、遠藤地区に在住の小学生38人が参加をしてくれました。

さつまいも掘りでは、まちづくり推進協議会自然環境部会長も務める飯島富士男委員指導のもと、自前の畑でいろいろな種類のさつまいもを掘ることができました。掘り終わった後も、掘り残しを探したり、土いじりをするなど、普段は体験できないことを体験することができ、子どもたちの笑顔が絶えることはありませんでした。

コスモス狩りでは、青木浩一委員のコスモス畑でコスモスの花をたくさん摘み、それを簡易的な花束に仕上げ、遠藤市民センターに持ち帰りました。遠藤産のさつまいもとコスモスの花束をお土産に満足のうちに解散しました。

(写真左上：さつまいも畑 右下：コスモス畑)



## 秋葉台サンシャインと遠藤地区青少年育成協力会が統合します。

令和6年度から秋葉台サンシャイン(中学校区に1団体。教育総務課所管)と遠藤地区青少年育成協力会(青少年課所管)が統合して1つの団体になります。両団体ともに「学校・家庭・地域が連携しながら青少年の健全育成を図る」ことを目的に活動してきましたが、時代の流れにより構成員の減少や委員の重複により、事業従事者が減少している現状から、同じ理念を持つ地域団体が統合し、新たな体制で活動を推進していくことになったものです。秋葉台サンシャインとして発行する広報紙はこれが最後になりますが、令和6年度からは遠藤地区青少年育成協力会の事業なども含め、幅広い広報活動を実施していきたいと考えています。

(会長：渡辺 節)







## 令和5年度版 遠藤地区ニュース

発行日/2024年(令和6年)3月25日

発行者/遠藤まちづくり推進協議会・遠藤地区社会福祉協議会・遠藤地区自主防災協議会  
秋葉台サンシャイン(秋葉台中学校区三者連携会議)・慶應義塾大学 SFC 未来フィールド研究プロジェクト

事務局/遠藤市民センター 電話:0466-87-3009